Die Eiche ディ アイヘ
http://www.jdg-chiba.com

Japanisch-Deutsche Gesellschaft
der Präfektur Chiba
〒274-0822 船橋市飯山満町 2-518-1
清和会第２ワールドナーシングホーム内
電話 047-461-9111　Fax 047-461-7010

第一次世界大戦終結から 100 年 「ドイツ軍人慰霊祭」 取り組みを新たに

年頭のご挨拶　　会長 金谷誠一郎

皆さま、新年おめでとうございます。今年も当協会の活動にご理解とご協力をいただきますようお願い申し上げます。

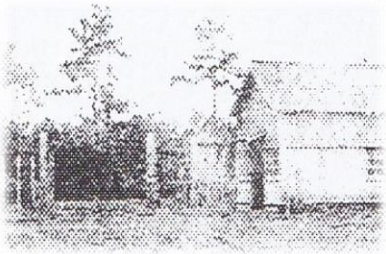
今年は平成最後の年になります。第一次大戦終結 100 年の記念すべき年でもあります。1989 年の平成元年はバブル景気の真っただ中でした。その後は 20 年にわたる不況で、さらに 2008 年のリーマンショックで世界的な金融危機が発生したのでした。

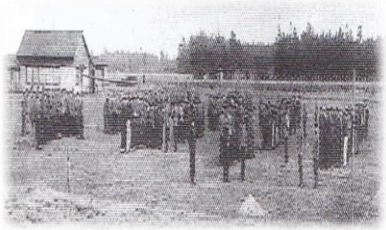
日、米、欧の中央銀行が景気回復のために、大幅な金融緩和策を実施して景気回復の芽が出てきたところでトランプ大統領が誕生。「アメリカ第一」を掲げて、型破りの政策を次々と打ち出しています。北朝鮮の核開発や ICBM 発射実験には、核戦争をも厭わないような対決姿勢で緊張を高めています。

ドイツから先日、一時帰国した友人の話では、核シェルターの普及率がスイス、イスラエルで 100%、米国 82%、韓国で 300%に対して、わが国では 0.02%と極端に低い。日本人は核戦争勃発の可能性を信じないのか楽観的なのか、と言っていたのが印象的でした。

激変する国内外の情勢の中でも千葉県日独協会としては例年 11 月に実施してきた「ドイツ軍人慰霊祭」には、新たな視点と心構えで取り組みたいと考えています。

この「慰霊祭」は第一次大戦で習志野に収容されていて、1918 年のスペイン風邪で亡くなられたドイツ兵 30 人を弔うもので、↗





上はドイツ軍人の慰霊碑。日本で逝った 30 人の名前が刻まれている。右上は習志野収容所の正門付近、右はドイツ人俘虜の集合写真＝習志野市教委「ドイツ兵の見た NARASHINO」から。

↘　協会活動の原点です。昨年の慰霊祭に参列されたドイツ連邦共和国大使館のライボルト武官は「2018 年はフォン・ヴェアテルン大使の参列やドイツ軍楽隊の参加も検討したい」と発言されました。当協会としてはこれを機に、会員皆様とともに慰霊祭の歴史的意義を再確認し、さらに慰霊祭を末永く実施できる組織にしていきたいと思います。

幸いこの 2 年間で、大学生を含む若い会員も少しずつ増えて来ていますので、若手会員の組織化を検討してみたいと考えています。全国日独協会連合会では、新たな取り組みが始まっています。全国の日独協会会員の若人が入会金なしで加入できて、普段の情報交換はネットで行う。年間にいくつかの行事を開催する「日独ユースネットワーク」（http://jg-youth.net/about/）です。若い会員には大いにこれに参加していただきたいと思います。

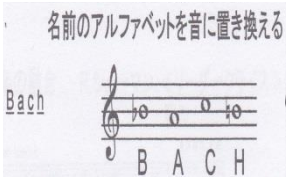
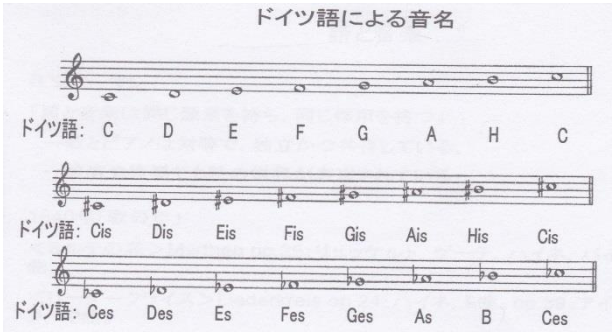
「若手会員の組織化」と、「会員が楽しめる企画」を

協会で永年ご活躍いただいている皆様には、「ドイツパンと料理を楽しむ会」に加えて、新たに「ドイツビールとワインを楽しむ会」なども企画したいと考えています。会員の皆様には、新しい企画やイベントのご提案、ご希望を寄せていただき、協会活動の活性化と刷新に努めていきたいと思います。

反響が大きかった!!
異色の'17ドイツ語講習会

協会恒例のドイツ語講習会が昨年 10 月から 12 月にかけて当協会理事、土屋有里さんを講師に招き開催された。内容は右上に別掲の通りで、会員ら 29 人が受講した。土屋講師の狙いと、受講生たちから寄せられた感想をお届けする。

＜「ドイツ語で読み解く音楽の世界」のテーマ＞

❶ 音楽用語とドイツ語
❷ 音楽レポートを読む（キリル・ペトレンコ）
❸ 楽譜に記されたドイツ語～ベートーヴェンのピアノ・ソナタより～
❹ 音符に隠された言葉たち
❺ 詩と音楽

講師：土屋有里・理事

この度の講習会は『ドイツ語で読み解く音楽の世界』と題して音楽にまつわるドイツ語を取り上げながら，音楽の世界をご紹介しました。目的は①音楽に関する簡単な言葉をドイツ語で学ぶ②音楽表現に関するドイツ語を理解して音楽を鑑賞する③詩と音楽の関係を理解しながらドイツ歌曲を味わう一の３点を念頭に、視聴覚資料や私の実演を交えながら楽しんでいただくことを主眼としました。「音楽」を前面に出したドイツ語講習会はこれまでとは異色のようでしたが、皆さんが熱心に受講くださり、大変有意義な時間を共有させていただきました。

（以下は有志の感想文・抜粋。五十音順・敬称略）

楽譜の意味を平易に解説し、即座に鍵盤で実践していただき素人でも理解できた。譜面上にさりげなく自己PRを繰返す作曲家、秘めたるメッセージを忍ばせる作曲家。曲の生い立ち、音楽の深さを教えてもらった。	小野　浩
音楽のプロならではのお話は実演及びインタネット情報入りで、バッハからベルリン・フィル次期首席指揮者キリル・ペトレンコに至るまで専門的なこともさらりと明快で、素人には優しい講習に感謝しています。	木戸芳子
音楽はほとんど素人の私ですが、興味深く聴きました。この講習会を再度企画していただきますように。	小林杉男
音楽とは作曲家が音符で自分の意見や主張を表現ができて、聴衆や第三者がそれを知ることができるということ。小学校以来の音楽の授業で習った覚えはない。音楽とは何か、その奥深さを教わり、感謝しています。	坂本宗秋
音楽とドイツ語の強い結びつきを再認識。オーケストラの編成、歌劇と楽劇、ハープの弦は47本、コントラバスは5(4)本。ブラームスの恋人が題材の弦楽六重奏には音符a.g.a.d.h.e.が隠されていた。目からうろこ!	杉田房之
ヘンデルのラルゴを題名と思っていたが、テンポのLargoゆるやかに、だったこと。作品番号はモーツァルトがK(Köchel)だが、バッハはBWV、ハイドンがHob.、ベートーベンOp、シューベルトはD。無知蒙昧には楽しかった。	田中正延
クラシックとドイツ語への関心から参加したが、先生の爽やかでわかりやすい講義に魅了された。シューマンのリートを聴きながら「詩人の恋」の主人公に自分を仮託していた若い日を懐かしく思い出した。	塚原浩毅
ピアノを練習している私には大変勉強になりました。とくに、Bachなどが自己の名前の「音名」を曲の中に置き換えていたことにはびっくり。重たい曲の中に面白さがあるなどと大変興味を持って受講しました。	戸田正保
講義のテーマと内容が当日にならないとわからないので、それだけ楽しみがあった。２回目の講座のキリル・ペトレンコの記者会見(ドイツ語)の内容は興味深かった。その後NHKで放映された公演が楽しめた。	中野泰行
私は音楽に興味がなく、小中学の音楽の時間が嫌いだった。先生は「音楽に言葉がある」と。どういうこと？ドイツのドレミはA.B.C.で表すと。音楽が分かりかけたようで、灯りがともった気がした。この光は続く!!	二見理一
楽曲が作られた背景や楽譜、音符に託されたメッセージなど普段では聞けないことを教えていただき、偉大な作曲家たちを身近に感じることができました。音楽ならではドイツ語の使い方も勉強になりました。	本橋　緑
クラシック音楽は初心者、ドイツ語に触れるのは何十年ぶりでしたが、とてもわかりやすい講義で楽しかった。楽譜でドイツ語を目にすることがなかったので、いろいろな背景を学び、親近感を覚えました。	山岡万名美
音楽とドイツ語好きな人には堪えられない講義でした。受講生にさり気なく質問し、つぶやくような答えも拾い上げる対話式授業が印象に残る。わからない疑問にも次回に説明する率直さと熱意が伝わってきて感心。	吉田千賀子

ドイツと私

人生に彩りを 添えてくれた『ドイツ』

川口　正光

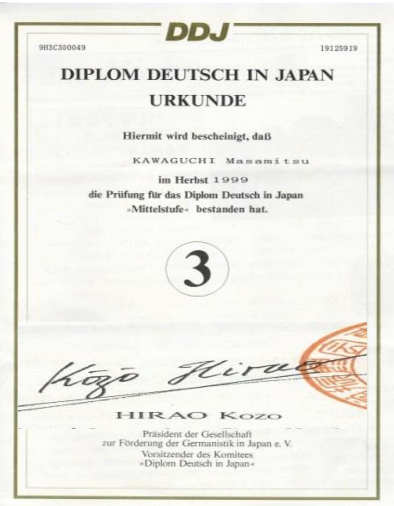
私がドイツに初めて関心を持ったのは、中学２年の 1955(昭和 30)年であった。放課後の校庭で青い目のハンサムな生徒がサッカーのボールを蹴っていたのを見た時だ。音楽家の父親が戦前ドイツに留学し、ドイツ人女性と結婚した家庭の子どもだったようだ。

音楽とドイツが好きな父の影響も大きかった。映画「会議は踊る」の主題歌をいつも口ずさみ、「ドイツ人は偉い。頭もいいし２度の世界大戦に敗けたのにまた立ち上がった」というのが口癖だった。

もう一人、親戚の女性の存在が忘れられない。父の従兄の一人娘で、東京芸術大学声楽科の学生だった彼女が 1955 年、ミュンヘンに留学したのだ。「本場でドイツリートを学ばせたい」とドイツ人の先生が勧めたからだったが、当時は１ドル 360 円時代、プロペラ機でカラチ経由２日も要した。何もかも大変な旅だったという。

「町のあちこちにはまだ焼け跡が残っていたわね」「小柄で黒い目と髪の私はアメリカ人やハンガリー人に間違えられたわ」「ドイツリートを学びに来たのはスゴイと大歓迎されて嬉しかった」。彼女が話す「ドイツ・ミュンヘン」は私の耳には心地よく響き、胸躍るものだった。

私のドイツ語への挑戦が始まった。高校１年。毎朝６時、NHK ラジオドイツ語講座を布団の中で気楽に聴いた。Das Atom gleicht ganz dem Sonnensystem!（原子は太陽系によく似ている）。関口講座を今も覚えている。 1990 年初めから 2000 年にかけて、サラリーマン最後の 10 年間は夕方 JR 神田駅前の NOVA でドイツ語を勉強した。定年間近い 58 歳になり上智大学で約 200 人の学生らに混じって「独検」を受験し、３級に合格した。合格証書（写真、下）に平尾浩三先生（当協会名誉会長）の署名があり、私の宝物である。


DDJ

DIPLOM DEUTSCH IN JAPAN
URKUNDE

Hiermit wird bescheinigt, daß

KAWAGUCHI Masamitsu

im Herbst 1999
die Prüfung für das Diplom Deutsch in Japan
»Mittelstufe« bestanden hat.

3

HIRAO Kozo
Präsident der Gesellschaft zur Förderung der Germanistik in Japan e. V.
Vorsitzender des Komitees »Diplom Deutsch in Japan«

定年後、ドイツ・オーストリー・ハンガリー・スイスなどを旅行したのがいい思い出である。ライン河やドナウ河を航行しながら NOVA で学んだドイツ語や英語の練習をした。定年後の 66 歳の１年間、成田空港でガイドもした。毎日午前４時に起きて６時には空港へ。８時に、ドイツ語圏の航空機が到着する。入国審査ホール前で待ち構える私は大勢の旅行客に大声で Guten Morgen! Grüß Gott! Willkommen in Japan! とやるのだ。毎日が楽しかった。

思えば、私の人生に活力と彩りを添えてくれたのは大好きな「ドイツ」である。今は協会の勉強会やイベントに参加しながら「ドイツ」を大いに楽しんでいる。

‘　‘17 クリスマス＆忘年会は昨年 12 月 9 日（土）午後５時から JR 総武線の新検見川駅から徒歩で僅か２分にある「越中音酒場はなぞの座」で午後５時から開かれた。参加者は 30 分前からぞくぞくと来場し、定刻には 34 人が集まった。とくに、女性が 12 人も参加し、いつになく華やかな宴となった。

いつになく華やかに
'17 クリスマス＆忘年会

須古副会長の司会のもと、金谷会長が「当協会の年内の行事は、皆さまの協力で予定どおり終了し感謝している」などと挨拶した。臼井名誉顧問の音頭で乾杯を行った後、福 康子さんによるピアノの生演奏が流れるなか、会員らはビール、ワインを片手に料理に向かった。

テーブルには、最初にグリルで焼いた太いソーセージ、シーザースサラダ、サーモンのマリネとカキの盛り合わせ、リブ付きチキンロースト、最後にチーズとジャガイモであり、店長自慢の料理とのことで全部が大変おいしかった。飲み物は日本酒、ソフトドリンクなども“飲み放題”とあって、「何でもオーケー」の強者も満足顔だった。会員から提供された熱いグリューバインも好評だった。

宴会の合間３回にわたって、二宮理事の指揮によりクリスマスや年忘れにちなんだ日独の歌を 10 数曲の歌集を手に声を張り上げて更け往く夜を愉しんだ。

（吉川　三朗）

'18 ドイツ研修旅行実施へ　5/26から7泊9日

協会主催の旅行**「ベルリン＆東部ドイツ都市めぐり"M.ルターとエルベ"」**は、参加申込者が期限の 1 月 20 日で 20 人を超え、予定通り実施が確定しました。現在も問い合わせが続いていますので、参加申込の最終〆切を 2 月末まで延長します。参加者をさらに増やし、賑やかで楽しいグループにするとともに旅行費用（25 人で、1 人・¥328,000）を少しでも安くできるようにしたいと願っています。　↗

↘　会員の皆さまには一人でも多くご参加いただきますよう、またご家族、ご友人をお誘いくださるようお願いします。

さらに参加者を募集　2月末まで

問合せ＆申込：橋口昭八　☎ 047-449-0878
E-mail: s.hashi@ae.auone-net.jp / 吉川三朗 ☎ 047-449-4752 E-mail: yoshikawa-s@jcom.zaq.ne.jp
（旅行委員会）

「ドイツパンと料理を楽しむ会」（第２回）開催のお知らせ

当協会は「ドイツパンと料理の勉強会」を昨年 10 月に実施しました。ドイツ人の Felix さんを講師にお招きして３種類の料理を教わりました。今回はそのうち１種類の復習と、当日予定しながら時間不足で作れなかったサンドウィッチ１種類を皆さんと一緒に作りたいと思います。前回は講師の急な帰国に伴い間近のご案内でしたが、参加出来なかった方や復習したい方など多くの皆さまの参加をお待ちしています。

＜第１回勉強会の様子と作品＞

Ⅰ. 日　　時：3 月 18 日（日）15:00　～　18:00
Ⅱ. 場　　所：船橋市中央公民館　実習室
　　＝船橋市本町２丁目２−５　☎ 047-434-5551
Ⅲ. 講　　師：土屋有里（会員、運営委員）、本間実里（会員、運営委員）
Ⅳ. 内　　容：①ベルリンのブレッテン（ハンバーグ）②ドイツパン（ライ麦 70%）のサンドイッチ
Ⅴ. 会　　費：1,500 円（材料費を含む）
Ⅵ. 持 ち 物：参加希望者は、当日下記の物をご持参ください。　**〇エプロン　〇布巾　〇料理の持ち帰り用タッパー　〇その他、ソフトドリンク等のお飲み物（アルコール類は除く）は、各自持参。**
Ⅶ. 募集人員：20 人　（先着順にて締め切りとさせていただきます。）
Ⅷ. 参加申し込み先：◇千葉県日独協会・金谷　誠一郎 ☎&FAX　043−248-0226　E-mail: info@jdg-chiba.com　◇千葉県日独協会・事務局長　杉田房之　☎&FAX　047−444-6423　E-mail:sugita-f@tbz.t-com.ne.jp　**緊急の場合：携帯電話** 080-5508-0688）

運営委から

理事会の開催　4 月 21 日（土）15:00 から。船橋市中央公民館で。新年度　↗ ↘　の役員人事、'17 年度収支決算などを審議。

年次総会の開催
5 月 12（土）時間、場所は未定。講演会を予定。

◇会員の活動

「杉村楚人冠の	3/28	水	15:30-	船橋中央公民館	「千葉フォーラム歴史・文化の会」（代表、須古正恒=当協会副会長）の
随筆で読む千葉県」			17:30	＝船橋市本町	第67回勉強会。講師は杉村楚人冠記念館学芸員・文学博士の
				2-2-5	高木大祐氏：我孫子に住んだ先進的新聞人。杉村の人と作品などから千葉県内の様子を知る。参加費¥1000/1人、勉強会後希望者は懇親会。
				☎047-434-5554	

編集後記

◇今年は、第一次世界大戦終結から 100 年。金谷会長は習志野俘虜収容所で逝った兵士 30 人の慰霊祭を永く続ける意義を強調しています。慰霊祭に、平和を願う祭典として“新たな歴史的意義と魂”を入れて、会員や関係自治体など多くの市民と共有できるよう努めたいですね◇協会創立の翌 1997 年からのドイツ語講習会は会員スタッフのご協力で実に多彩で、独創的です。今回の土屋講師による授業は音楽からのアプローチとしてユニークでした。最終回後の“謝恩飲み会”では、参加者の驚きや喜こびが飛び交い大いに盛り上がりました。２面はその“再現”です。皆さんの意見や思いを載せて、コラム「ドイツと私」とともに Die Eiche が会員交流のツールになれば、との願いを込めました。　（M.T.）